

■ 令和3年度活動報告

1 会員への情報提供及び情報交換

(1) 方針

- 会員相互の情報交換を促進するため、交流の場を設ける。
- 他のネットワーク組織やインキュベーション施設、公設試、千葉県等との連携を強化し、相補的・発展的な活動展開を図る。
- 県の産業振興策をはじめ、国の政策やAMED、NEDO等の事業に関する情報収集を行い、会員へ情報提供する。

(2) 具体的な取組

ア 総会（事例報告会と同時開催）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止の観点から、オンライン開催とした。

日 時：令和3年6月10日（木）13:00～13:30

開催方法：WEBライブ配信（Zoom）

内 容：令和2年度事業報告、令和3年度事業方針（案）について

イ 事例報告会

日 時：令和3年6月10日（木）13:30～15:45

開催方法：WEBライブ配信（Zoom）

テ ー マ：脂質を見る・知る・考える

～最新のリピドミクス解析技術から医学研究まで～

申込者数：102名

内 容：

- ・脂質多様性を分子レベルで捉えるリピドミクスの技術展開
（公益財団法人かずさDNA研究所 生体分子解析グループ
グループ長 池田 和貴 氏）
- ・質量分析による生理活性分子の可視化
（慶應義塾大学医学部医化学教室 専任講師 杉浦 悠毅 氏）
- ・さまざまな不飽和脂肪酸の分子的特性と炎症制御に関わる生理的機能
（神戸大学大学院医学研究科 地域社会医学・健康科学講座 疫学分野
准教授 篠原 正和 氏）
- ・こどものアレルギー疾患と脂質の関わり up to date
（千葉大学予防医学センター 特任教授 下条 直樹 氏）

ウ 企画運営会議

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止の観点から、2年続けて書面で開催していたことから、顔合わせを兼ねてオンラインで開催した。

(ア)第1回

日 時：令和3年6月1日（火）午後1時30分～3時30分

開催方法：オンライン（Zoomミーティング）

内 容：

- ・各委員からの取組報告等について
- ・令和3年度の活動方針について

(イ)第2回

日 時：令和4年3月25日（金）午前10時～11時

開催方法：オンライン（Zoomミーティング）

内 容：

- ・令和3年度活動報告（案）について
- ・令和4年度活動方針（案）について

エ セミナー

開催なし

オ 外部ネットワーク等との連携の強化

内閣府が進めるバイオ戦略に基づいたグローバルバイオコミュニティの形成に向けて、千葉県やかずさDNA研究所とともに、千葉県内の産学官連携組織として、Greater Tokyo Biocommunity（GTB）協議会の事前会合の段階から参画した。

実務者会議等を通して協議を行い、バイオ推進拠点として「千葉・かずさエリア」を設定し、本ネットワーク会議が千葉県の産学官連携の窓口機関となった。（令和4年4月認定）

その他、全国バイオ関係者会議幹事会（事務局：（一財）バイオインダストリー協会）やバイオ産業支援機関ネットワーク会議（事務局：（公財）木原記念横浜生命科学振興財団）等に参画し、バイオエコノミー社会の実現に向けた基盤戦略である「バイオ戦略」（統合イノベーション戦略推進会議）や関係省庁の施策、各支援機関による支援事例等に関する情報収集及び情報交換を行った。

2 共同研究プロジェクトの創出に向けた取組

（1）方針

- 新たなプロジェクト創出のため、県内大学・研究機関のシーズと企業ニーズの探索に努める。
- 共同研究プロジェクトの創出に向け、情報交換の場を設ける。

（2）具体的な取組

ア セミナーの開催

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止の観点から、

交流会形式での開催は見合わせた。

イ バイオ・ライフサイエンス分野に関する県庁内連絡会議の開催

千葉大学の新しい取組である災害治療学研究や、学術研究・イノベーション推進機構（IMO）の産学官連携に向けた取組について情報提供をいただき、庁内関係課と情報共有を行った。

また、県庁内関係課とかずさDNA研究所の取組について情報交換を行った。県農林総合研究センターからの要望を受けて、かずさDNA研究所と共同で、ゲノム解析による病害防除対策法の開発を行うこととなった。

日 時：令和3年9月6日（月）午後1時30分から午後3時30分まで

開催方法：オンライン（Zoomミーティング）

内 容：

- ・ バイオ・ライフサイエンス分野に関する庁内連絡会議について
- ・ 千葉大学における災害治療学研究の取組について
- ・ 千葉大学 学術研究・イノベーション推進機構（IMO）の産学官連携に向けた取組について
- ・ 各部局における取組について

■ 令和4年度活動方針（案）

1 会員への情報提供及び情報交換

（1）方針

- 会員相互の情報交換を促進するため、交流の機会を設ける。
- 他のネットワーク組織やインキュベーション施設、公設試、千葉県等との連携を強化し、相補的・発展的な活動展開を図る。
- 県の産業振興策をはじめ、国の政策やAMED、NEDO等の事業に関する情報収集を行い、会員へ情報提供する。

（2）具体的な取組

ア 総会（事例報告会と同時開催予定）

- 時 期：令和4年6月
- 方 法：オンライン開催
- 内 容：令和3年度事業報告（案）、令和4年度事業方針（案）

イ 企画運営会議

- 時 期：令和5年3月
- 方 法：未定

ウ 事例報告会（総会と同時開催予定）

- 時 期：令和4年6月
- 方 法：オンライン開催
- テーマ：作物ゲノム編集育種の現状と展望

エ セミナー

- 時 期：令和4年内
- 方 法：未定
- テーマ：未定

オ ネットワーク形成及び情報交換

企業や研究機関等がニーズ発信やマッチング、情報交換等、双方向の交流をできる機会を設け、ネットワーク形成を促進するとともに、外部ネットワーク等との連携を強化する。

また、GTB協議会の取組や情報を活用し、バイオ戦略（統合イノベーション戦略推進会議）が目指す市場領域や本県の特徴等を踏まえ、タイムリーな話題の提供や産学連携・産産連携等による新事業・新産業の創出に資するセミナーや勉強会等を開催する。

2 共同研究プロジェクトの創出に向けた取組

(1) 方針

- 新たなプロジェクト創出のため、県内大学・研究機関のシーズと企業ニーズの探索に努める。
- 共同研究プロジェクトの創出に向け、情報交換の機会を設ける。

(2) 具体的な取組

- 会員の事業内容等を把握・整理し、必要に応じてマッチングの機会を設ける。
- バイオ戦略が目指す市場領域において、本県の強みを活かせる分野を模索するとともに、有望な分野については、関係者による情報交換の機会を設ける。
- 企画運営会議等で提案のあった内容等について、必要に応じヒアリングを行った上で、関係者による情報交換や勉強会等の機会を設ける。